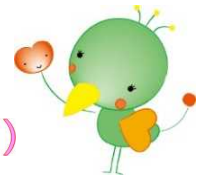
医療福祉の地域創造会議　通信 第133号

（R7.2.5）



第127回ワーキンググループ会議（R7.1.23）

「遺品整理の現場から見える地域からの孤立の実態」

●話題提供者

メモリーズ株式会社　代表取締役　横尾　将臣　さん

１月のワーキンググループ会議は、遺品整理・福祉整理をされているメモリーズ株式会社の横尾将臣さんに話題提供をしていただきました。

実際の遺品整理の現場を見せていただき、地域コミュニティで SOS に気づき、必要な支援につなげていく大切さを改めて気づかされました。

メモリーズのサービス

- 遺品整理
- ゴミ屋敷清掃
- 福祉整理
- 消臭除菌
- 空き家整理
- 特殊清掃

福祉整理することで QOL 向上につながる

福祉整理とは

終活の一環で片づける生前整理ではなく健全な生活をするために住環境を整え、長生きするための整理

ゴミが増加している理由

① ネットショッピングの普及
② コンビニエンスストアの利用増加
③ 高齢化社会の影響（高齢者の多くが物を捨てることに抵抗感、ゴミの分別の厳格化が高齢者に負担）
④ 生活スタイルの変化（若者を中心に自炊しない、使い捨て製品を好む）

- 小さなきっかけで生活リズムが狂い、モノ屋敷になる
- 男性は配偶者と死別すると健康や生活リズムが大きく崩れやすい

- ADL が低下すると住環境が荒れる

- 孤立・閉じこもり傾向の人はそうでない人に比べて６年後の生存率が 2.2 倍低くなる
- 孤独死、発見が遅れる案件が増加する

- 約６万８千人の高齢者が独居状態で死亡していると推計される

地域コミュニティで小さな SOS に気づこう！

遺品整理・福祉整理の実際の現場はメモリーズの YouTube でご覧いただけます。

孤独死は絶対におこる。孤独死＝不幸なこととととらえてほしくない。ピンピンコロリと自分の思うように亡くなられている方もいる。支援者や周りの方は余り悩まずに、住み慣れたおうちで亡くなってよかったよねと思えるくらいの意識を持ちたい。孤独死が起こることは仕方がないが、せめて３日以内に見つけてほしい。

家に物があふれる→掃除ができなくなる→不衛生になる→元気がなくなる→生きる気力がなくなる→荒んだ生活になる→セルフネグレクトになる。セルフネグレクトになる前に何とかしようと葛藤されている。早い段階で SOS に気づいてほしい。

日本人は自分が孤独と思っている人が多い。自分たちの使命は片付けを通してそういった人を元気に、笑顔にしていきたい。

横尾 将臣 さん

【参加者の声】

- 両親はものを捨てるのが嫌だというが、「捨てる」ではなく「ゆずる」「活用する」という言葉を使えばよいというのが参考になった。
- オークションで売ってお金になってよかったよという言葉を伝えることも大事と思った。
- ごみの廃棄のルールは難しい。障がいや病気のある方とない方で廃棄のルールが同じなのはおかしいので何とかならないのか。
- 一人暮らしをしているが、よく歩く、社会的なつながりをたくさん持っていることが大切と感じている。
- 孤独死が不幸なのかもう一度見直す必要がある。自分がどこまで納得して、社会とどうつながっているかが大事。
- 認知症が進んだ母親が県外に住んでいて、ある時から整理整頓ができずグループホームに入居させた。その後、元気になっていってこれでよかったのかなと悩んでいた。今日の話を聞いて、自分の判断はよかったと思った。
- 町内の組長をしていて会費を回収しに行くが、皆さん話したくて１軒１時間くらいかかる。大変だが、それが生存確認に繋がっていると思うと今後もやりがいがある。
- マンションの孤立が課題。元々、地域の方と関わりたくない方もいる。
- 包括でケアマネと地域住民と協力して福祉整理を進めているケースがある。実の兄と福祉整理する支援者との生活保持・環境保持のグレード感がずれている。現在、本人は入院中で家に帰って生活するためには福祉整理を進める必要があると説明しながら地域みんなで頑張っている。
- 業者に整理をお願いしないといけない事例があるが、よい業者を探すのが難しい。地域の中での口コミも資源にしていくことも大事。理想は行政が優良業者を紹介してくれるようになるとよい。
- 病院を退院されるタイミングで介入のチャンスがある。SC や民生委員と事前に会議をして情報共有してネットワークを作っていくことも大事。

【次回ワーキンググループ会議】

〇日時：令和７年２月２７日（木）18:30～20:00
〇場所：滋賀県危機管理センター　大会議室（Ｗｅｂ参加可）
〇テーマ：「防災と保健・福祉の連携による高島市における個別避難計画の作成について」
〇話題提供者：高島市健康福祉部社会福祉課　梅村　淳　さん

医療福祉の地域創造会議　事務局

（滋賀県庁　医療福祉推進課内）

TEL　077-528-3529
FAX　077-528-4851
e-mail　info@chiikisouzoukaigi-shiga.jp